

# 令和6年度 佐賀市 地域づくり交流会 実績報告

出会い、知りたい、語りたい  
ともに描く地域の明日～「私」から始まる未来へのリレー～

## 1 開催概要・実績

**日時** 令和7年2月1日(土) 9:30～12:00  
**会場** メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)  
**目的** 地域づくりに関わる多様な主体(まちづくり協議会、市民活動団体、企業、大学など)が自らの役割や連携のあり方についての認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげる。

来場者数

種別	令和5年度	令和6年度
まちづくり協議会	172人	158人
市民活動団体	41人	40人
企業	18人	15人
大学	7人	7人
P T A	14人	10人
その他・所属無し	43人	58人
合計	295人	288人

参加団体数(ブース出展)

種別	令和5年度	令和6年度
まちづくり協議会	31団体	31団体
市民活動団体	11団体	11団体
企業	6団体	5団体
大学	3団体	3団体
合計	51団体	50団体

## 2 プログラム

- ①基調講演
- ②事例発表
- ③さが・まちづくり広場
- ④振り返り

**①基調講演** ファシリテーターの深川光耀氏による基調講演『私の想いが地域を変える～子どもたちの笑顔のために今、私たちが地域に関わる理由～』をテーマにお話いただきました。

私発協働・昨年度振り返り

◇私発協働: <私> から始まり、周りをゆるやかに引き付け、共に力を発揮しあうことを通じて『公共の福祉』に導く一連のプロセス

◇<私> 個人(子育て世代)の想いの芽を大切にしながら、地縁団体が見守りつつ(バックアップし)育てる姿勢

進む、世帯の単独化

【若者】 単独世帯増  
 【子育て世代】 複数世帯減  
 【高齢者】 単独世帯増

○地域のつながりの希薄

○中高年や高齢者等の社会的孤立(孤食の増加なども)

⇒家族が担ってきた子育て、囲らん、見守り等の機能的「地域化」

気縁(きえん)による地域参加



深川 光耀氏

気が合う

私の想い

好き得意

興味関心が近い

楽しい

きえん『気縁』

子育て世代や若者にとって大切な要素

**②事例発表** 川副中学校PTA会長の山崎 純氏、ark.代表の中里 文雅氏から、各団体の地域での取り組み事例や地域への「想い」について発表していただきました。

『地域と子どもたちに私たちができること』  
～川副中PTAのキャリア教育～  
川副中学校PTA 会長 山崎 純氏

『子どもたちに繋げたい地域づくり』  
ark. 代表 中里 文雅氏



若い世代にも声をかけて&想いや楽しさを伝えてみてください。自分にできることをできる範囲でならやってもいいよ、と思っている人はどの世代にも必ずいます。しかし、その瞬間のキャパによってその時は活動できない人もいます。仕事、子育て、その他諸々…。キャパオーバーで困っているときに手助けしてくれた人のことを必ず覚えています。そして、心ある人はひと段落ついたらともに歩んでくれるかもしれません。

子どもたちに繋げたいもの、…

それは**想い**

メッセージ

**想い**がつながる社会こそ、

持続可能で、循環できる社会

**③さが・まちづくり広場** 出展された50団体が、多目的ホール、談話コーナー、多目的室 教養文化室で活動紹介を行いました。

【多目的ホール】



【まち協】 31校区のまちづくり協議会

【市民活動】 シニア情報生活アドバイザー-佐賀県防災士会、佐賀子ども支援の輪 佐賀県CSO推進機構、しよりのゆうのつどい 佐賀市観光ボランティアガイド、ark. Togetherland佐賀支部、かちPICA 遊友クラブ視覚障がい者と歩こう会、愛未来

【談話コーナー】



【多目的室】



【企業】佐賀県ヤクルト販売(株)、九電グループ(株)ミズ、地域商社さぎんコネクト(株) 明治安田生命 佐賀支社

【大学】佐賀大学、佐賀女子短期大学 西九州大学・西九州大学短期大学部

【教養文化室】



**④振り返り** 次世代を担う方々(子育て・働き世代)が地域活動に参加しやすくなる合言葉

**Smile:笑顔**

○子どもたちの笑顔が地域活動の原動力に  
○子どもに関する活動が、地域参加のきっかけになる

**Along well:気の合う**

○気の合う人、楽しい時間、興味関心で集う「気縁」のつながり

**Grow:成長**

○私の想いから始まった活動が、仲間とともに広がり、地域活動へと成長していく

**Assist:支援も支縁も**

○まち協等の手助けや寄り添い、子育て世代の地域参加を支える  
○地域のネットワークで、つながりを支える「支縁」も大切

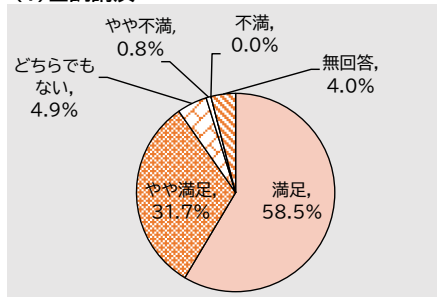
# 来場者アンケート結果

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回答者数 ①	153人	174人	123人
来場者数 ②	265人	295人	288人
回答率 ①÷②	57.7%	59.0%	42.7%

## 本日の内容はいかがでしたか。

### (1)基調講演

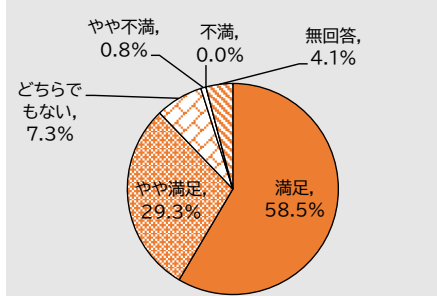
○…良かった点 △…改善を要する点



### 理由

- 深川先生自身地域の活動に色々関わっているので身近に感じ非常に良かった。
- 高齢化が進む中、若い世代を取り込むのに子育て世代との交流方法が参考になった。
- 気が合う、好き、関心がある、楽しいという「気縁」型の参加、子育て世帯の参加に配慮して、これからの地域のつながりを考えていくこと、、、考えさせられました。
- 楽しいキーワードに集まる気縁の話はとても良かったですやらされる感より自分達も楽しく活動をしたとおもいました。
- △時間をもう少し長めで説明してほしい。

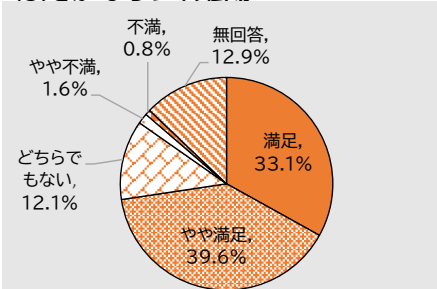
### (2)事例発表



### 理由

- 「できる人が」「できることを」「できる時に」やろうというモットーが心に残った。
- わかりやすい内容。企業との繋がり、人々との想いの繋がりが事例を含め「想いが重要」が良かった
- 「2割 やる 6割 声がかかればやる 2割 やらない」まさに現状です。6割の方へどう声かけするか、個人の考えの時代をふまえて。
- とても共感した。同じ子育て世代の声が心にひびいた

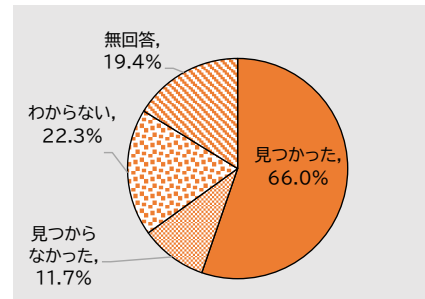
### (3)さが・まちづくり広場



### 理由

- 皆さん各地区熱心に取り組んでおられることがよくわかった。
- 他の校区の取組みは大変参考になった。
- 地域の人の小さな集まりが地域を良くする、公民館の使い方が判りました。
- △展示をもっと派手に
- △ブースが少し狭いでしょうか。

## 今回のイベントで、何か今後につながるヒントは見つかりましたか。



### 具体的な内容

- 専門性のある団体との連携が活動の内容や場を広げる。
- まち協に活性化、若年層の参加喫緊の課題。声掛けが大事というヒントが見つかりました。
- 後継者育成をめざし、広報の重要性を再認識した。
- 各世代との要望を聞き取り地域の人の興味のあるものを実現していくことが大切だと感じた。

- △ほとんど同じような行事が多い
- △見つかるようにしたいと思った (若い世代につなげるために)

## 来年度の交流会などについて、ご意見をお聞かせください。

### (4)他団体との交流…今後の活動で交流したい団体があればお書きください。

◇他県の団体との顔合わせの場 ◇他団体との意見交換の場

◇ark. ◇川副中PTA ◇愛未来 ◇フードバンク ◇川上校区

◇他まち協の防災について ◇NPO活動について

◇一般の方とも話したい ◇コセバ乗りカー ◇春日北の紙とうろうについて

◇大学の地域との関わりについて ◇先進自治活動団体 ◇佐賀子どもシェルターばるーん

◇防災士会 ◇地域貢献企業の話

### (5)その他…来年度取り上げて欲しい内容やご意見など自由にお書きください。

◇県内団体企業 ◇30代～40代の世代の人が関わる交流会があればいつか1回は参加したい

◇まち協の活性化若年層の参加 ◇防災関係 ◇今後の自治会のあり方を学習したい

◇まち協が取り組む「地域課題の解決」に関する事例が聞きたい

◇公民館の役割、サポート、部屋貸しのコンセプトをより掘り下げた内容

◇イベントのアイデア、工夫の情報、話して聞けることでまちづくりのイベントでのアイデア、きっかけになると思います

◇まち協を支える人材 ◇若者を参加させる例

◇婚活成功例 ◇まちづくりの各々の地区のイベント